

# えがお



平成30年度  
No. 7  
1月22日

伊那市  
よりよい  
教育環境  
推進連絡会

## 最近の子ども会での子どもたちのようす

西町地区青少年育成会会長 酒井伸治

新年度を迎え、寒さも厳しくなってきました。子どもたちも冬休みを終え、本年度の子ども会行事も残りわずかとなりました。私の育成会での活動は、まだ短い期間ではありますが、子ども会での活動を通して、子どもたちの元気な姿や無邪気な笑顔に幸せをたくさん頂いており感謝の限りです。

さて、最近思うのですが、子どもたちの参加人数が年々少なくなっているように感じます。地区の行事もまた然りです。大人の皆様においても同じことが言えるのではないのでしょうか。人数が少なくて活動自体に無理が生じていることもあるうかと思えます。もちろん、どの地域でもということではありません。この背景には、少子化や居住地域の変化、核家族化や過熟化といった家庭環境の変化、習い事の多様化や過熱化などがあるかと思われまます。子どもたちも遊びやコミュニケーション方法などは、昔とは変わってきています。これらは、時代の流れでもあり致し方ないのかなと思います。しかしながら、地区や子ども会の活動は、子どもたちにとっては故郷の思い出になるだけでなく、教育的な視点からも非常に有意義なものではないかと私は思います。地区の行事では、地域ならではの自然や文化を体験することができ、様々な年代の方々と交流を経験することもでき、子ども会では子どもたちが自主的に活動することも求められます。これらは、子どもたちにとって、実はとても良い教育の場なのではないでしょうか。是非とも多くの子どもたちにこの有意義な体験・経験をしてもらいたいです。そのためにも、子どもたちが「参加しなければいけない」ではなく「参加したい」となるような活動内容にしていかなければならないと思います。

子どもたちを育てることは地域の将来にもつながっています。子どもは親にとっても、社会にとっても、また地域にとっても大切な宝物です。そんな宝物を育てる役割を担う一員として、今後も

全力で取り組んで参りたいと思います。引き続き、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 生涯学習センター

### 自主講座のご紹介

#### 「遊びの教室を開催」

こまやけん玉で楽しみました



冬の伝統遊びを伝授して家族や友達と一緒に楽しめる機会にしようと、今年で四年目になる「こまやけん玉を楽しむイベント」を伊那市生涯学習センターで一月五日と十二日の二日間、全四回行いました。

各回親

子二十人

加し、日本こままわし協会の指導者から手ほどきを受けた、伊那市と松本市の保育士九人が講師をつとめました。こま回しでは講師が「ひもをしっかり軸に巻いて優しく投げてください」と、けん玉では「玉をのせる時は音がでないようひざを曲げて優しくのせてください」などと丁寧にアドバイスをしていました。



参加した子どもも多くは幼稚園や保育園児たちでしたが、難しい技に何度も挑戦し、大講師の実演もすばらしかったです。親子や友達と笑顔で仲良く遊んでいる姿に感動しました。



(文・写真 丸山 敦所長)



## 伊那北小学校

### 『地域協働の学校作り』

をめざして

伊那北小学校は、西方に里山の森林、東方に田と蕎麦畑が広がる丘の上の田園風景のなかに位置しています。その豊かな自然に囲まれて、学校教育目標「かしこく なかよく たくましく」の下、毎日運動に学習に中核活動にと意欲的に生活しています。そんな本校の特色を少し紹介させていただきます。

#### 「コミュニティスクールの充実」

学校応援団(信州型コミュニティスクール)も、本格的にスタートして六年目となり、現在は七つのカテゴリーで三一の部会をもち、延べ一六〇名以上の地域住民の方々に支えて頂いています。

「伊那北小ウォーキング隊」「コンビニ安心安全部会」「東京大学黒河内研究室森林再生共同研究部会」「いきいきサロン」「北小ハローワーク」など、本校ならではの特色ある活動が展開されているのですが、その中で今年度特に力を入れているものとして次の部会を紹介します。

#### ① 里山から学ぶ

自然に直接関わる体験活動は、子どもたちが主体的に豊かに学ぶ場として最適であり、必要不可欠なものです。地元の方々の協力によって、上牧地区の「里山自然パーク」の様々な活動に関わらせていただきながら、特色ある活動を展開してきています。一・二年生は『森を楽しむ』活動として、木の名前調べ、虫探し、植物探し、園児との交流、里山ウォークラリーなどの遊びを通して森との関わりを深めます。三・四年生は『森を活かす』活動として、茸栽培、観察、炭焼き体験、炭の活用などを通して森との関わりをさらに深めていきます。五・六年生は『森を創る』活動として、森林再生事業への参画、

森林保全作業への参画、里山パークの施設保全への協力、行事への参画や共同開催などを行い、里山に恩返しをする活動をしています。六年生は今年度から新たに、東京大学の黒河内研究室との共同研究で、「森林再生」に関する活動がスタートしました。さらに、

自分たちにとっても地域の皆様にとっても、居心地の良い場所にしたとの願いから、手作りのベンチや椅子、簡単な遊具などを配置したり、遊歩道の整備をしたりする活動も意欲的に行っています。常に里山のボランティアの方々やアドバイザーやお手伝いをしていただきます。そんな地域の皆様の支えもあって、子どもたちにとって、里山がより一層親しみやすい場所になってきています。

#### ② いきいきサロン

毎月一五日に行っている地域の方と交流する『いきいきサロン』ですが、今年度は特に伊那公民館のマジッククラブの皆様による「マジックショー」のステージ、地区社協の皆様が中心になって指導して頂く「昔の遊び」の二部構成で行っています。マジックショーは毎月マジシャンの方が交代で、色々な不思議な手品を見せてくださっています。時には子どももステージに上がって一緒にマジックをさせて頂いています。昔の遊びは多様で、これまでに「あやとり」「お手玉」「紙鉄砲」「紙飛行機」「ビュンビュンゴマ」「傘袋飛行機」「紙テープゴマ」などを教えて頂き、一緒に作って、一緒に遊んで下さっています。毎回百名を超える児童が参加し、地域の皆様と楽しい時間を共有させて頂いています。地域の皆様も、子どもたちの反応のよさから、元気をもらっていると話して下さっており、お互いに意味のある活動が行われてきています。

#### ③ 「ニコニコ自然パーク」自然観察隊



校舎南に地域の皆様の憩いの場として整備したピオトープ池「ニコニコ自然パーク」ですが、地域にお住まいの自然観察指導員の方を中心になって頂いて「自然観察隊」を行っています。観察隊が取り組む内容は、定期的に池周辺の観察を重ねつつ、パークをつぶさに見つめ、その変化を記録し、自然保護に役立てていくというものです。このパークを起点にして、より一層地域に開かれた学校を目指して参ります。

#### 【登下校時の安全・安心の取り組み】

- 見守り隊の皆様による登下校指導
- ウォーキング隊の皆様による登下校指導
- 本校PTAの皆様による登校指導
- 伊那警察署警ら隊への巡回要請
- 長期休み明けの集団登校
- 集団下校訓練





# 春富中学校

## ◇登校時の安心・安全への取組

毎年四月と十月、生徒会安全通学委員会が中心となり、交通安全教室を実施しています。四月は、自転車通生、徒歩通生の基本的なルールについて再確認しました。十月は、交通安全教育支援センターから講師をお招きし、実演を交えてご指導いただきました。自転車と歩行者のすれ違い方やブレーキのかけ方等学び交通安全に対する意識の向上を図りました。



P.T.A.では、春と秋にそれぞれの地区の校外指導部員が道路に出て直接声がけをし、見守ってくださっています。そして、生徒の様子については状況を学校へ報告していただいています。



職員は、毎月一回、交通安全現地指導を行っています。部活動がない水曜日、生徒たちが一斉下校した後、それぞれが担当している地区へ出向き、現地で生徒たちの下校の様子を見守っています。また、部活動のある日は、自転車置き場や校門前で、ヘルメットの着用や荷物の取り付け方等確認し、明日また元気に登校していただくことを願って、声をかけ下校の様子を見守っています。

## ◇読み聞かせ・放課後学習支援

### 「ボランティアの皆さんに支えられ」

今年も地域のボランティアの皆さんにご協力をいただき、朝読書の時間の読み聞かせ、放課後学習への支援をお願いしています。読み聞かせは年四回、ボランティアの皆さんが各

学級に入り、それぞれに選んでいただいた本を読んでいたいただきました。写真のように、紙芝居を準備され読み聞かせを行っていただいた方もおられました。

放課後学習では、学力向上支援員の皆さんに数学と英語を支援していただいています。十月より、月曜日・金曜日の週2回放課後学習を行ってきています。今年も、支援員に伊那西高校の2年生をお願いしたところ、3名が支援員に加わっていただきました。その中に本校卒業生がおり、中学時代にこの放課後学習に参加し、支援の先生がお世話になったので恩返しをしたい、との思いから参加していただきました。

このように春富中は様々な形で、地域の皆様に生徒達の成長を支援していただいています。これからも感謝の気持ちを忘れることなく、地域の皆様とのつながりを一層大切にしていきたいと思えます。



## ◇学校目標

### 理想をめざし、

### たくましく実践する人になろう

世界は一人では変えられない。しかし、知識を求め自分を成長させようとする開かれた意思と認め合い高め合う仲間と心を合わせれば世界を変えることができる。その理想を現実にする生徒の育成のため本目標を設定した。

#### 重点目標

- (1) 「社会に生き、幸せになる学力」の育成
- (2) 「違いと想いを共有し、人権感覚を自ら磨く生徒」の育成
- (3) 「一人・地域に関わり、恩をおくる意思を持った生徒」の育成



# 長谷小学校

## ★学校教育目標

### 本気で取り組む子ども

自分で考え、自分から取り組む

長谷の子ども

## 地域の方々に支えられ 地域と共に歩む 長谷小学校

「長谷学区地域支え合いの会」として、信州型コミュニティスクールが本格実施され、地域の皆さん支えられながら様々な活動に取り組んでいます。その中のいくつかの活動をご紹介します。

### 1 長谷つ子講座

地域の方々に講師をお招きして、年間通じた交流活動に取り組んでいます。五つの講座をもうけ、本校児童だけでなく、地域の方々、保護者も一緒に活動しています。



- ・ 自然体験講座
- ・ ニューススポーツ講座
- ・ 将棋講座
- ・ 昔の遊び講座
- ・ マレットゴルフ講座

講師のみなさんは子ども達との時間を大切にしてくれ、笑顔で学校に足を運んでくださっています。

### 2 読み聞かせ・音楽ボランティア

音楽ボランティアさん、読み聞かせボランティアさんに、行事や教育活動でご協力いただいています。読書旬間や朝の読み聞かせの時間、音楽会など学校生活の充実につながっています。

### 3 孝行猿集會

九月二十七日、お家の方や地域のお世話になった方々、高齢者のみなさん方をお招きして孝行猿集會を行いました。親への感謝の



気持ちを表した作文発表、三年生の「孝行猿」劇の発表を伝統的に行っており、今年も多くの地域の皆様においでいただきました。

「孝行猿」の劇は、このほかにも、地域の公民館や高齢者福祉施設などでも上演しました。

## 高齢者クラブや地域のみなさんと交流

### 全校よもぎ採り



特色ある活動の一つに全校よもぎ採りがあります。毎年五月、保護者や地域の方々、高齢者クラブのみなさんと一緒に、それぞれの地区で野山のよもぎを採ります。今年は気温が低く生育が心配されましたが、収量は総計六百二十キログラムでした。多くの方々のお力添えがあり、伝統となっている活動です。

## 登下校時の安心・安全の取り組み

長谷小学校の子ども達は、毎日地域の多くのみなさんに見守られて生活しています。



中でも三峰川総合開発関連工事に関わる大型ダンプカーの運転手のみなさんによる「子供みまもり隊」の活動は防犯面だけでなく交通安全の意識を高く持つことにもつながっています。

五月には「子ども見守り隊」の皆さんや「長谷つこ見守りたい」「子どもを守る安心の家」をお招きして、安心安全見守りの会と懇談会を開きました。心温かな地域の皆様のおかげで、毎日子ども達は安心して登下校することができています。

子どもたちは地域の皆さんの思いを受け、毎日安心して学校生活を送り、地域の一人として頑張っています。